

位置図



現地条件・課題(施工上の制約、設計のコントロールポイント等)(道路)

- 国道 212 号 現況交通量 7,081 台/日(大型車 1,548 台/日)令和 3 年交通量センサス値
- 国道 212 号:片側交互通行(歩道は通行止め)・市道:通行止め(地元協議済)
- 山側急峻地形→既設の落石防護柵は、別途、道路防災事業の計画があるため、本計画では既設防護柵に影響させない計画が必要
- 令和 8 年 5 月に国道の交通規制を解除する

現地条件・課題(施工上の制約、設計のコントロールポイント等)(旧橋撤去)

- 河川内工事のため、非出水期間(11月～5月)による施工
- 道路嵩上工事のため、旧橋 A1 橋台付近護岸工の早期着工が必要

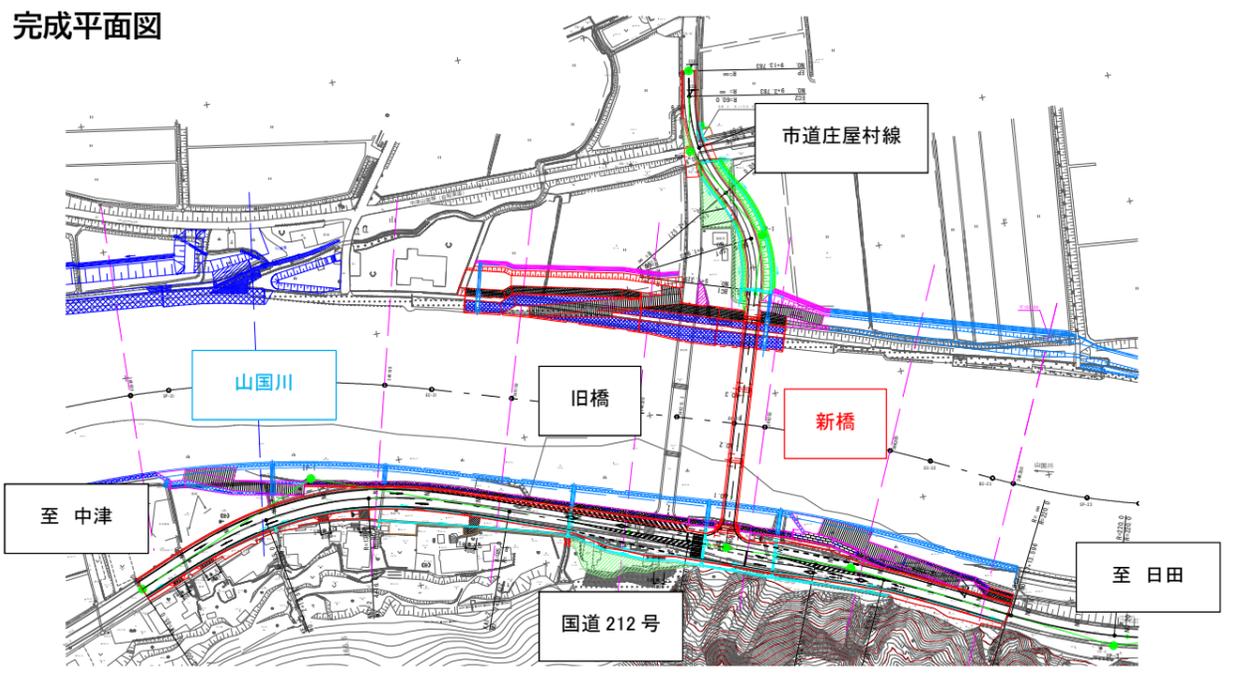
設計条件(道路)

- 道路区分:第3種第2級 □ 設計速度:V=60km/h
- 計画幅員:W=8.0m(車道 3.25m, 路肩 0.75m) 歩道 w=1.5m

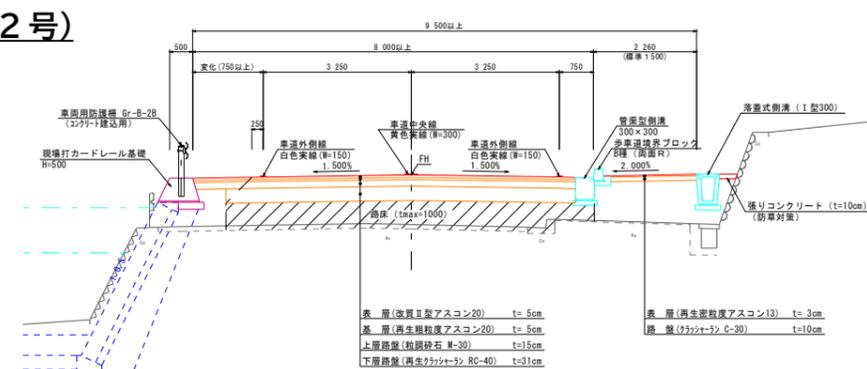
設計条件(旧橋撤去)

- 施工時水位:上部工撤去時 T.P.155.74m 下部工撤去時 T.P.155.53m
- 仮締切り:大型土嚢

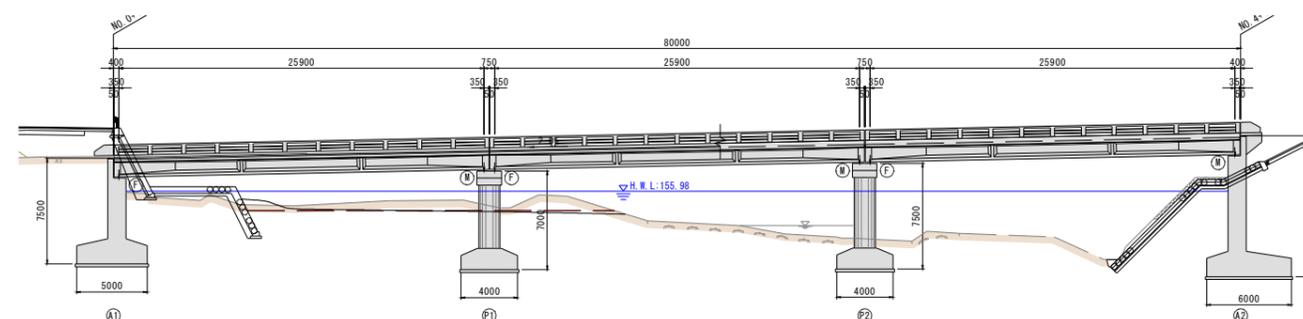
完成平面図



標準断面図(道路:国道 212 号)



標準断面図(旧橋撤去)



施工者からの意見および対応方針

○改善事項

- 国道嵩上工事の車線切替時は、降雨時に盛土法尻が洗掘される可能性があるため、縁石や土嚢等を法尻に設け、洗掘防止対策を計画した方が良い。
→車線切替時の安全対策として、H型鋼付きガードレールを設け、洗掘防止対策と兼用する。設計数量としては、設置延長を算出し、追加計上する。

○確認事項

- 道路嵩上工事と旧橋撤去工事の同時施工方法(盛土施工のため、旧橋 A1 橋台付近の護岸を施工する必要がある)
→特に問題なし
- 旧橋撤去工事の河川内ヤードへの大型車両搬入・搬出方法(セミトレーラーの走行経路として、国道よりバックで進入する必要がある)(困難な場合は、河川内ヤードを広くする必要が生じる)
→現地状況からすれば、バック走行にて搬入、前進走行にて搬出で問題ない。

○その他

- 道路嵩上盛土及び河川内ヤードの土砂は、どのような盛土材料を想定しているのか。
道路嵩上工事に使用する土砂については、粒径が大きい礫等が混在した場合、現地にて選別作業をするのは困難である。
→現在、調整中であるが、残土処理場の土砂若しくは購入土を想定している。工事発注時には、最終決定する。